

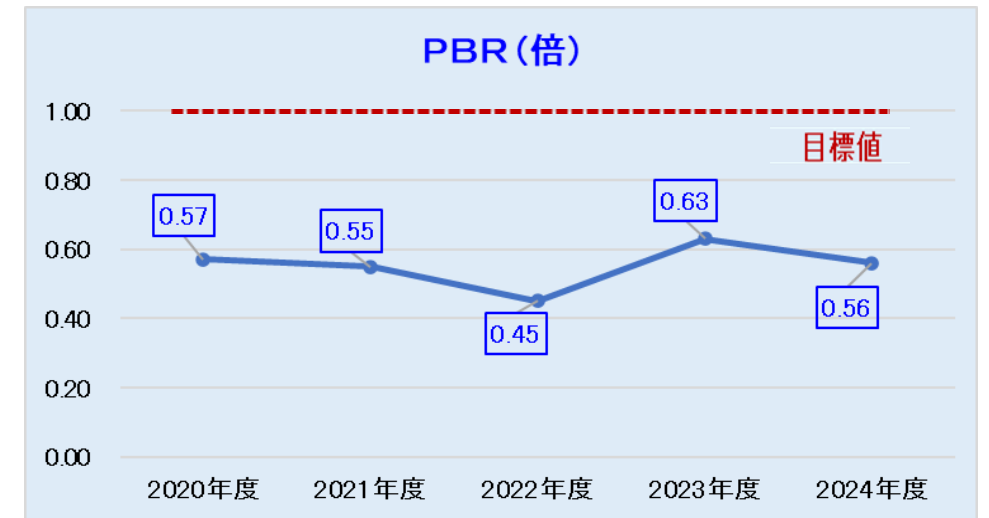
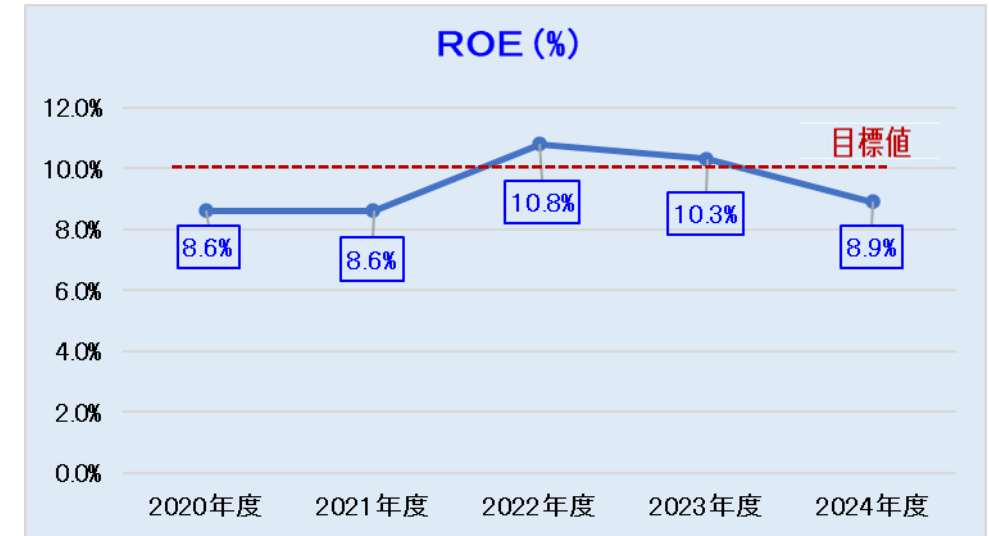
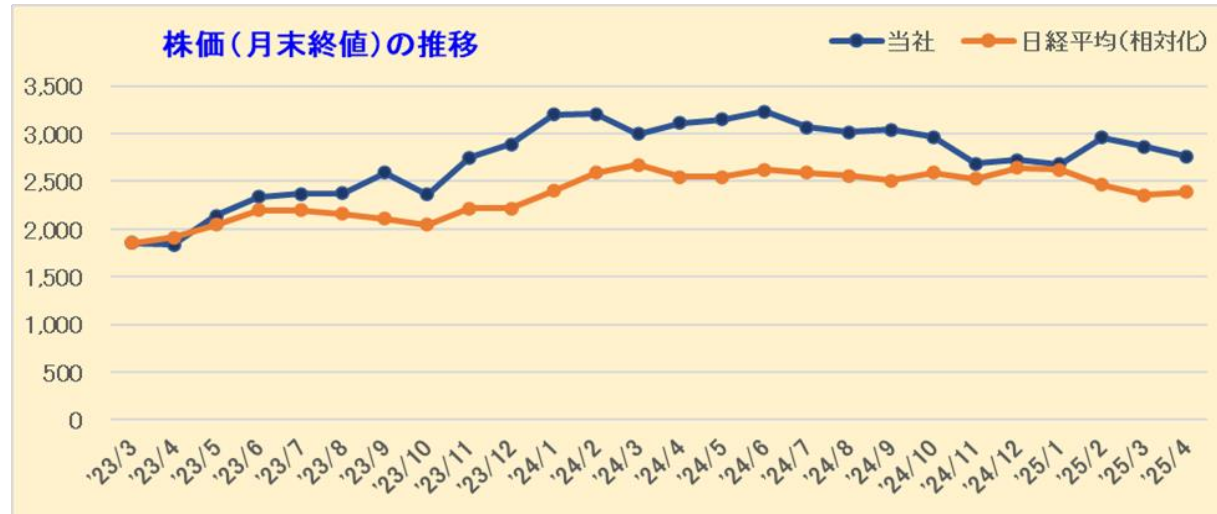
資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応について（アップデート）

2025年6月17日



現状分析：株価・PBR・ROEの推移

- ・ 2025年3月期のROEは8.9%で、自己資本の増加により前年比1.4ポイント低下しましたが、資本コストを上回る水準を維持しています。（直近5年間平均ROEは9.4%）
- ・ 2025年3月期のPBRは0.56倍。業績は安定推移中で、財務基盤改善は進んでいますが、PBRは目標値1.0倍を下回っています。
- ・ 当社株価は日経平均株価の上昇率を上回ってはいますが、1株当たり純資産の増加分が十分反映されているとは言えず、成長・資本・I R戦略の更なる推進が必要であると考えます。



具体的取り組みの進捗状況①

中期経営計画：事業戦略 2025年3月期経営成績（連結）

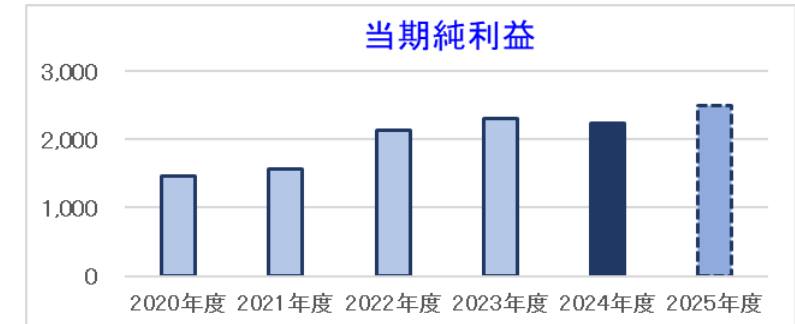
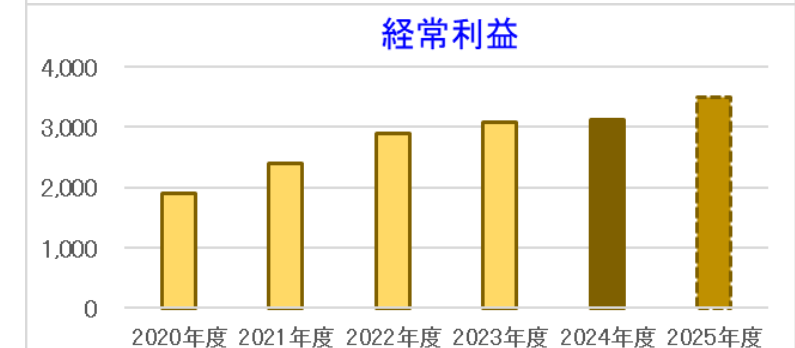
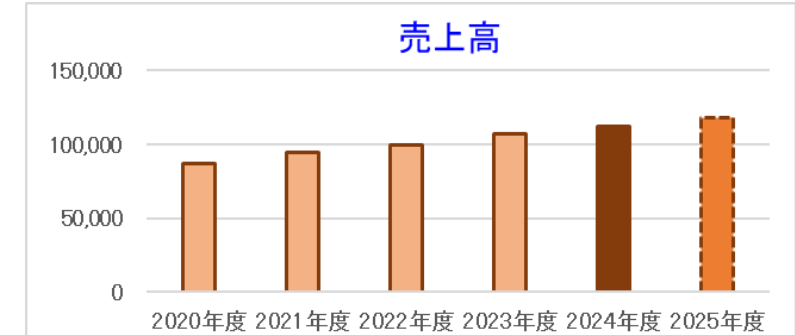
単位：百万円

	2023年度 実績	2024年度 予想	2024年度 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	107,455	110,000	112,512	+5,057	+4.7%
営業利益 (利益率)	2,982 (2.8%)	3,200 (2.9%)	3,062 (2.7%)	+80	+2.7%
経常利益 (利益率)	3,084 (2.9%)	3,200 (2.9%)	3,131 (2.8%)	+47	+1.5%
当期純利益 (注) (利益率)	2,301 (2.1%)	2,200 (2.0%)	2,241 (2.0%)	△60	△2.6%
自己資本比率	39.6%		46.3%		+6.7p
R O E	10.3%		8.9%		△1.4p

(注)親会社株主に帰属する当期純利益

- 中期経営計画“NSクリエーション2026”基本方針に基づき諸施策展開中
- 売上高は前年比+4.7%、経常利益は前年比+1.5%、増収増益決算
- 売上高は二期連続1,000億円超、営業・経常利益は四期連続増益確保し、過去最高益を更新しました。

直近5年間の実績推移（百万円） ※2025年度は業績予想値



具体的取り組みの進捗状況②

中期経営計画：財務戦略、人事戦略、サステナビリティ戦略、I R戦略

戦略／施策	具体的内容	評価
財 務 戦 略	▶ 安定収益を確保し、また連結B/Sの圧縮に努めた結果、自己資本比率は6.7ポイント改善し46.3%へ ▶ 成長戦略推進のための設備投資に関して、グループ内資金を有効活用し、総資産圧縮に注力 ▶ 前期末が休日であったこと、下請法60日ルール適用などの影響もあり、営業C/Fのプラス幅は大きく減少	○
人 事 戦 略	▶ エンゲージメント向上に向け、給与改定、人事諸制度見直し、長時間労働是正など、諸施策を展開中 ▶ 職場環境改善やこれからの働き方スタイルに合った機能的なオフィスを目指し、昨年9月に本社を移転（ナラサキスタックス本社は本年5月に移転済、当社北海道支社は本年9月に移転予定） ▶ 多様な人材確保を狙いとした採用活動を展開中、研修体系見直し検討、ハラスメント教育継続実施中	○
サステナビリティ戦略	▶ 事業セグメント毎に、環境ビジネスへの取り組み、インフラ整備事業への貢献のための施策を展開中 ▶ 「コンプライアンス」「人材の確保・育成、働き方改革」を全社対応リスクとして具体的実施項目を展開中 ▶ 「Sustainability Report 2024」を昨年9月に公開済、グループ役職員の更なる意識醸成は継続課題	○
I R 戦 略	▶ 情報提供体制整備の一環として、2025年3月期決算短信公表時に決算補足資料を同時開示 ▶ 株主・投資家とのI Rミーティングは個別対応中 ▶ H P の非財務情報充実、決算説明会開催、I Rフェア等の各種イベントへの積極参加は継続課題	△

具体的取り組みの進捗状況③

【資本戦略（利益配分方針）】

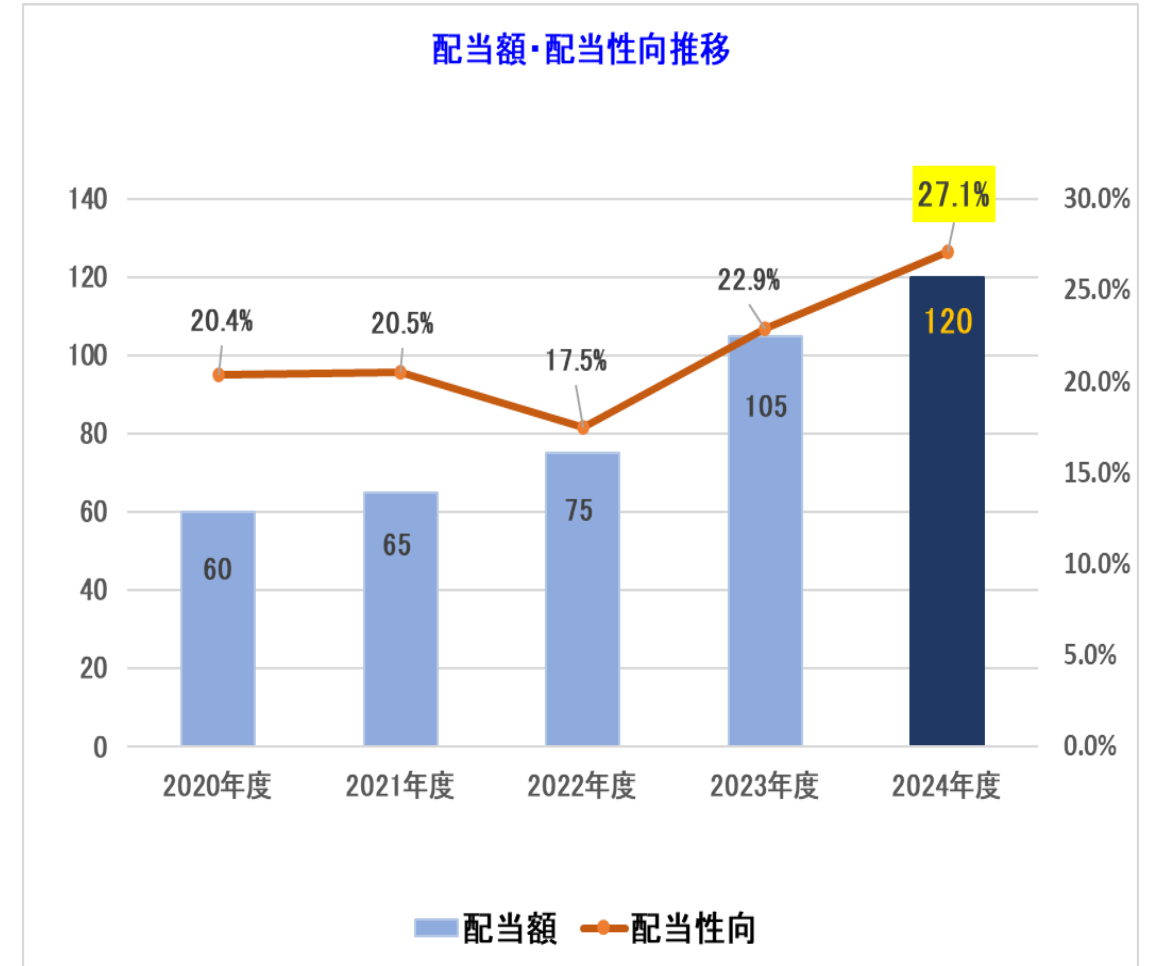
- ▶当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策と位置付け、安定的な配当を基本としつつ、収益状況・財政状態・今後の事業展開等を勘案し決定しています。
- ▶また、累進配当を維持しつつ、2026年度における配当性向30%以上を目指しています。

【2024年度の配当実績】

- ▶2024年度の年間配当金は、前年比15円増の1株当たり120円、配当金総額608百万円、配当性向は前年比4.2ポイント増の27.1%となりました。
- これにより4年連続の増配を達成しました。

【2025年度の配当予想】

- ▶2025年度は10円増配の130円としています。



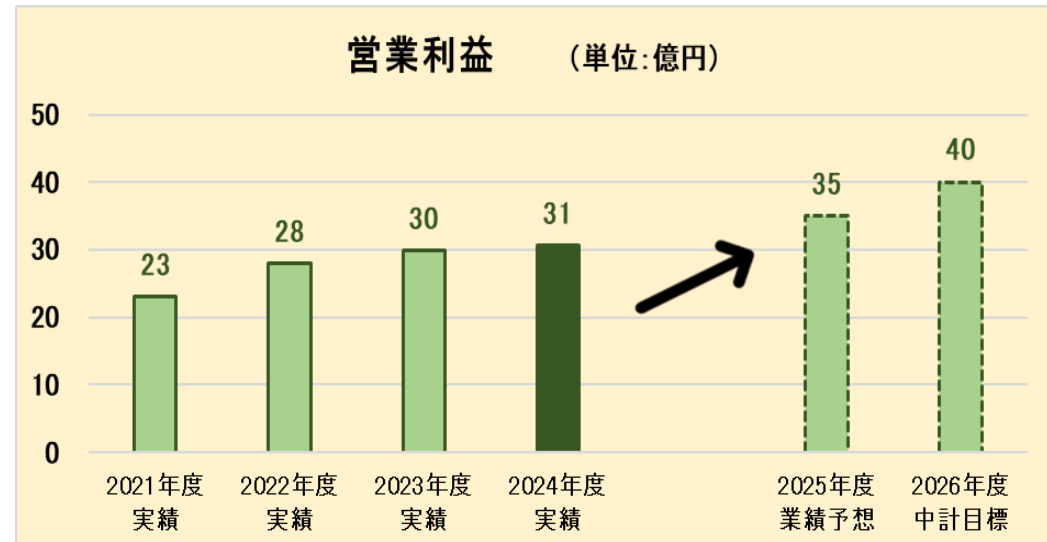
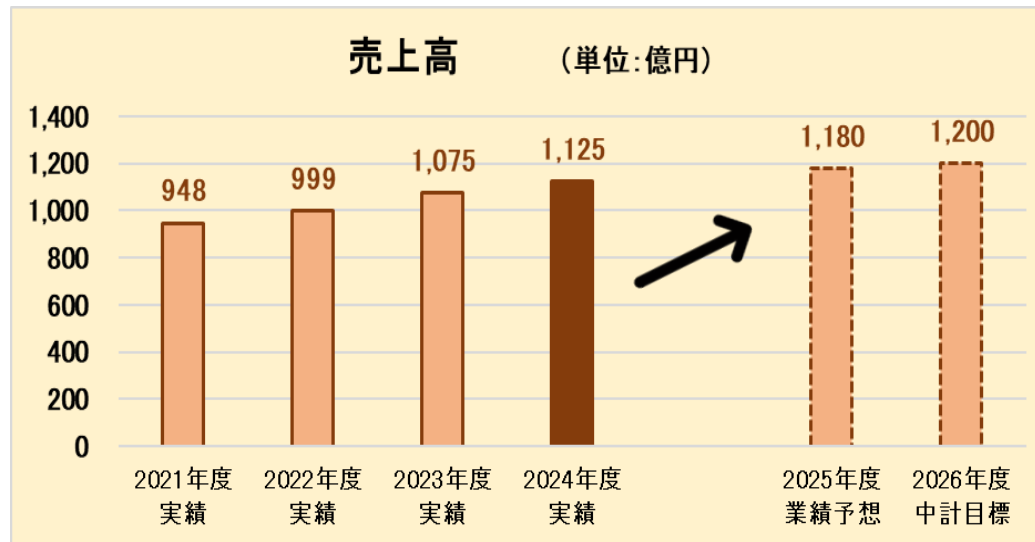
企業価値向上に向けた今後の取り組み①

■方針・目標

中期経営計画に基づく成長戦略を着実に実践することを通じて、事業価値を継続的に向上させ、持続的成長への期待を醸成することにより、PBR 1 倍超の早期実現を目指します。

2026年度（中期経営計画最終年度）

売上高1,200億円 営業利益40億円 ROE 10% 配当性向30%以上



企業価値向上に向けた今後の取り組み②

■ 具体的取り組み

